

～ 伝統は永遠の流行～

Shi ro ta

し ろ た

「賢く 優しく 遅く」
自分で考え
行動できる子ども



学校 HP

千代田中部小学校

R6年度 第9号

令和6年 7月19日

文責 校長 平山 忠直

1学期ありがとうございました～有意義な夏休みを過ごしましょう～



1学期を無事に終えることができました。子ども達は、勉強に遊びにとメリハリのある生活を送ることができていたと思います。保護者、地域の皆様には、多大なるご理解とご協力をいただき厚く感謝申し上げます。また、7月3日からの地区懇談会はお世話になりました。地区懇談会の様子や出た意見などは、参加職員から校長まで届いております。どの地区も「子どもが少なくなつて」と、少々さみしい声が聞かれたようですが、そのような中でも「コロナ禍で途絶えていた行事を少しずつでも復活させていきたい」「行事はなくても地域の子どもの大切にしていきたい」と前向きに考えられていたところが多いと聞き、うれしく思います。

7月22日から個人懇談が始まります。職員の出張等の関係で日程調整に関してご家庭にご不便をおかけしたところもあったと思います。お子様の1学期の様子や今後のよりよい成長に向けて、有意義な懇談となるようにしたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

神崎市商工会青年部あいさつ運動

7月8日、神崎市商工会青年部の方々、登校時のあいさつ運動をしてくださいました。たくさんの方が立たれていたので、子ども達もいつもと違って少々緊張した様子でした。

たくさんの方が、自分たちを守ろうとしていることが子ども達にメッセージとして伝わるのが大切なのだと思います。



着衣水泳(5・6年生)～水難事故防止～

16日に5、6年生は着衣水泳を行いました。今回も日本赤十字の方に指導いただきました。

去年経験しているからでしょう、水面で仰向けに浮くのが6年生が圧倒的に上手でした。これにペットボトル一本使うとさらに浮きやすくなることを体験しました。いずれにせよ、こういう状況にならないようにしたいものです。

例年、着衣水泳をもってプールの使用は最後となります。1学期の終業前のギリギリに期日設定ができれば、よかったのですが、日赤もこの時期多く学校からの要請を受けておられ、調整の結果、プールじまいには少々早い期日となってしまいました。



能楽教室～“能”の世界への誘い～



7月5日 能楽師の多久島 法子さんによる5、6年生を対象にした能楽教室を行いました。9月3日にはんぎーホールにて子ども能楽教室が開催されるにあたり、その募集も兼ねてのものでした。(4年生以上配布、申し込みの学校締切は17日まででした。)

本校では、毎年この時期から高志狂言クラブを発足し練習を開始しています。「能」が面をつけて人の喜怒哀楽を表現した歌舞劇であるのに対し、「狂言」は面をつけない笑いを主としたせりふ劇です。しかし、どちらも源は一つということでした。

9月3日の子ども能楽教室(神崎市主催)には千代田町校区の3つの小学校の5、6年生がはんぎーホールに鑑賞に出向きます。



森村先生についてのお知らせ

森村真衣先生が出産のため7月6日から産休・育休に入られました。日に日に大きくなるお腹を抱えながら7月5日まで校務を務めていただきました。元気な赤ちゃんを産んでほしいですね。

オリバーくん また会いましょう



7月8日から19日まで、夏休みを利用してUSAからオリバーくんが1年1組と一緒に過ごしました。(お母様が千代田出身とのこと。)できるだけ日本の学校の雰囲気味わせたいと制服に近い服やランドセルまで準備されて。オリバーくんには、日本の学校はどのように映ったのでしょうか。来年もお待ちしています。

